

花巻スペースプロジェクト「UP 花巻」がスタート

2024年の衛星打上げを目指す「衛星開発プログラム」

地元企業と共に新たな価値創出を目指す「地場産業プログラム」

宇宙をテーマに花巻を盛り上げるため誕生した合同会社 SPACE VALUE（本社：岩手県花巻市、代表：安藤修一、以下：SPACE VALUE）と、宇宙産業における総合的なサービスを展開する Space BD 株式会社（本社：東京都中央区、代表：永崎将利、以下：Space BD）は、地元根付く「宇宙」をテーマに、花巻全体を盛り上げていくことを目指す「花巻スペースプロジェクト UP 花巻」（以下：「UP 花巻」）を開始します。

■ プロジェクト概要

「UP 花巻」は、2024年の人工衛星打上げを主軸に、衛星の開発から運用を実施する「衛星開発プログラム」と、宇宙を題材に花巻を支える地場産業に新たな価値を創出することを目的とした「地場産業プログラム」の2つの取り組みを通じて、花巻の魅力を全国・海外へ再発信し花巻を盛り上げていくことを目的としています。また、これらのプログラムでは花巻にゆかりのある若者にも参画してもらい、未来の花巻のリーダーの育成にも貢献していくことも視野に入れています。

「衛星開発プログラム」はこの「UP 花巻」のシンボルとして、宇宙を身近に感じてもらう花巻の新産業創出の機運を高めることを目指し、花巻独自のミッションを担う衛星を開発、2024年の打上げを目指します。本プログラムは岩手県立花巻北高等学校で2年間の衛星開発プログラムとして展開していきます。「地場産業プログラム」では地場産業と宇宙をかけ合わせた商品やサービスの企画を通じ、花巻の産業における新たな価値創出を目指します。また、今後は地場産業プログラム企画の立案・実行を実施する若者を募集し、未来の花巻のリーダー育成の場としていく予定です。

HANAMAKI SPACE PROJECT



衛星開発プログラム

衛星開発/運用

「UP花巻」のシンボルとして
花巻の新産業創出の気運を高める

未来の花巻を担う、リーダーの育成

衛星開発の追体験カリキュラム
次世代人材育成

地場産業プログラム

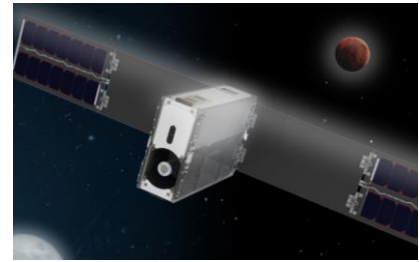
地場産業振興

地場産業への新たな価値創出

地場産業×宇宙コンテンツ
企画、運営、プロモーション等

1. 衛星開発プログラム

「UP 花巻」独自のミッション（衛星活用の目的）を担った超小型衛星の開発を行います。衛星開発事業を手がける株式会社アークエッジ・スペース（本社：東京都千代田区、CEO：福代孝良）の協力によりワイド6U規格（10cm×20cm×30cm）の超小型人工衛星が開発されます。衛星はカメラ等を搭載し撮影機能を持つ予定です。



©ArkEdge Space Inc.

本プログラムには未来の花巻を担う若者を代表して岩手県立花巻北高等学校の生徒が参加します。2022年4月より花巻北高等学校のカリキュラムとして、衛星の名称と衛星が担う宇宙空間でのミッションの検討および衛星開発プロセスの追体験を予定しています。約2年間のカリキュラムは、花巻北高校の生徒に宇宙に携わる仕事について興味関心を持ってもらうキャリア教育や、科学分野やものづくりへの関心を高めるなど、生徒に広い視野を持ってもらうことも目的のひとつとしています。

なお花巻北高校との取り組みは2021年より開始しており、同12月24日には冬季特別授業「学びの祭典」で宇宙をテーマにした授業を実施しました。1・2限目にSpace BD代表取締役社長の永崎将利が宇宙ビジネスの実践者として基調講演を行い、3・4限目にはSpace BD社員による、宇宙飛行士体験型のコミュニケーションワークショップを実施しました。



2021年12月 学びの祭典の様子

2. 地場産業プログラム

花巻市の地元企業様ご協力のもと、花巻の魅力である観光・伝統産業などに「宇宙」の要素を組み合わせた新しいコンテンツ開発を行います。「宇宙」という新たな切り口・要素を加えることで、花巻がこれまで紡いできた産業の付加価値を拡大していきます。また、取り組みやコンテンツを広く社会への発信することで、これまでにない視点からの花巻の認知度向上や新ビジネスの創出、花巻のまち全体の機運醸成を目標としています。また、今後本プログラムでは、地元企業様との検討の基盤構築の後、企画の立案・実行を共に実施する若者も募集し、社会人との交流や実際の企画運営を通じて未来の花巻のリーダー育成の場としていく予定です。

本プログラムでは、まず「UP 花巻」の想いにご賛同いただける花巻市の地元企業様を募集します。また企業様との協働は、都度協議を重ね、最適な形で進めたいと考えております。そのときの企業様の強みやニーズと宇宙をかけ合わせ、コンテンツ開発・運用、プロモーションなどを共同で企画検討していく予定です。

現時点検討中のものとして、創業100年以上の歴史を持つ花巻の染物企業、株式会社伊藤染工場様と、国際宇宙ステーション(ISS)「きぼう」日本実験棟の船外プラットフォームを活用して、「染物×宇宙」のコンテンツ開発を進めております。

また、これらを通じて生まれた企画は、花巻にゆかりのある若者中心に実施していくことを検討しています。

本プログラムにご関心をお持ち頂いた方は、以下公式サイトのお問い合わせフォームからお問合せ願います。

【花巻スペースプロジェクト「UP 花巻」公式サイト】

<https://www.up-hanamaki.com>

■ プロジェクト背景

本プロジェクトは花巻市出身の安藤修一が花巻の魅力を花巻市民と共に再認識し、国内外に発信していくべきだという想いから始まりました。そして花巻のシンボルのひとつである「銀河鉄道の夜」に代表される宇宙とのつながりが、本プロジェクトの着想となりました。

SPACE VALUE と Space BD は 2020 年から協議を重ね、SPACE VALUE の掲げるビジョンの実現を、Space BD がこれまで衛星打上げ事業、地域産業振興や教育事業から得た知見も活かし、「UP 花巻」を協創する運びとなりました。

■ 合同会社 SPACE VALUE 代表社員 安藤 修一のコメント



花巻は 100 年以上前に宇宙に想いを馳せた天才が生まれた街であり、その代表作の「銀河鉄道の夜」は深く地元根付き、日本でも有数の宇宙を感じる街です。そこで宇宙をテーマに花巻を盛り上げたいと考え、花巻初の人工衛星を 2024 年初頭に打ち上げます。この打ち上げを旗印に「宇宙のまち花巻」を国内外に発信して花巻の未来に繋げたいと思います。

■ Space BD 株式会社 代表取締役社長 永崎 将利のコメント



2020 年に安藤様から一本の電話を受け取り、花巻の明るい将来のために宇宙プロジェクトを立ち上げたいとされる真っ直ぐなお気持ちに感激したことが鮮明に思い出されます。川村校長先生とのお縁をはじめ、一つ一つのお縁が不思議なまでにつながり、「UP 花巻」を始動させることができました。

当社は、基幹事業である衛星打上げサービスと国際宇宙ステーションの利活用、祖業である教育事業と、持てる総合力を発揮し、全力で本プロジェクトを推進いたします。未知の象徴ともいえる宇宙は学びの宝庫です。多くの方に「UP 花巻」にご賛同いただき、共に沢山の挑戦をしていきたいです。

■ 県立花巻北高等学校 川村 俊彦校長のコメント



宇宙飛行士に求められる、広さと深さを持った知識・教養と未知で不確実性の高い宇宙空間で課題解決・意思決定をする人間力は、本校が求める人間像を具体化していると思います。

この教育プログラムの提案を伺ったとき、「これだ！」と求めていたものに出会った喜びと、素敵な機会を得ることができた幸運に高揚感をもったことを思い出します。今、私たちはグローバルの時代を生きていますが、生徒達は間違いなくグローバルの先の宇宙時代を生きることと思います。そういった意味でもこの宇宙プログラムは生徒のキャリア形成に大きく役立つものと確信しております。

■ 合同会社 SPACE VALUE

SPACE VALUE は、「×宇宙で花巻をワクワクさせる」をミッションに、花巻の魅力を宇宙をテーマにして発信する花巻発の企業です。「花巻スペースプロジェクト UP 花巻」を企画し、人工衛星の開発・打上る衛星開発プログラムと、地場産業と宇宙を掛け合わせ新商品・サービスの開発を目指す地場産業プログラムを推進しています。2022年現在、「UP 花巻」では2024年の衛星打上げを目指しています。

■ Space BD 株式会社

Space BD は、日本の宇宙ビジネスを、世界を代表する産業に発展させることを目指す「宇宙商社®」です。2017年の創業以来、宇宙への豊富な輸送手段の提供とともに国際宇宙ステーション(ISS)を初めとする宇宙空間の利活用において、ビジネスプランの検討からエンジニアリング部門による技術的な運用支援までをワンストップで提供してまいりました。これまで衛星取扱い約50件を含め100件以上の実績を重ね、宇宙商社として幅広く展開しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

Space BD 株式会社 広報 山田、原

TEL:03-6264-7177 FAX:03-6264-7178 E-mail:pr@space-bd.com